黒羽山　大雄寺

雄禅会かわら版

夏号

蝉の声が響きだす八月。夏休みには、「てらスクール」が開かれます。テレビも漫画もゲーム機もない時間。静かに坐る坐禅の時間。おしゃべりせず、正座で食事を頂く時間。真っ暗なお寺で行われる肝試し。夏のひと時、大雄寺は子供たちの修行の場になります。

てらスクールも始まって今年で九年目です。始めた頃は、小学生だった子がもう高校生になる頃。お寺で坐禅をした経験を持ちながら、生活してくれているのだと思います。「てらスクール」では、坐禅は親子で参加ができます。同じ経験を通して、家々での会話をして頂きたくて、九年目を迎えました。この間、いろいろな子供たち、親御さんと出会い、雄禅会々員と子供たちとの語らいもありました。厳しいこと、優しいこと、楽しいこと、いろいろな思い出を共有しています。「てらスクール」、雄禅会の大切な行事です。

雄禅会　目面　靖浩

☆この方にインタビュー

桑名さん

Q1．坐禅会へ参加されたきっかけは？

A1．雄禅会のメンバーの玉木さんの勧めで参加しました。性格的にあわて者的なところを改善したくて参加しています。

Q2．お住まいはどちらですか？参加されて何年になりますか？

A2．栃木県大田原市。車で十五分です。参加して十五，六年になります。

Q3．坐禅をされてみていかがですか？

A3．日曜日に早起きなどしなかったのですが、坐禅会に参加するようになり早起きをして健康になりました。

Q4．今日まで参加されていてのご感想は？

A4．日常生活に追われてしまって日常の自然の音（風や雨、鳥の声、虫の声など）を聴くことがなくなっていましたが、坐禅をしていて自然の音に気がつきました。日常をゆっくり、楽しく生活したいと思います。

桑名さん、いつも優しい笑顔でお話ししてくれてありがとうございます。

寺・こらむ　「水琴窟」

大雄寺の総門脇に水琴窟が制作されたのは平成十一年の夏である。水琴窟とは、江戸時代より残されている日本庭園の装飾の一つであり、竹筒に耳をあてると、澄んだ音が聞こえてくる。地中に埋められた水鉢に落下した一滴の水滴が反響しあい、綺麗な音を奏でるようなしくみになっている。大雄寺の水琴窟は益子茂子殿のお力添えにより制作されたものであり、「谿水（けいすい）の響き」と命名している。水琴窟の脇に建立された碑には曹洞宗開祖である道元禅師の歌が刻まれている。

「峰の色　谿（たに）の響きもみながら　我が　釈迦牟尼仏の聲（こえ）と姿と」（峰の山々を作り出す景色、そして谷より聞こえし響きのすべては、正に御仏の声と姿そのものである。）

住職　倉澤良裕

～お知らせ～

夏休み”てらスクール”は、おかげさまで、定員となりました。ありがとうございました。今年も有意義で楽しい二日間でありますように。

今年、初めての、、、

牡丹コンサートに替えてのお寺体験参加”花と禅”五月五日（祝月）、花曇りの一日ではありましたが、琴やチェロの音色に癒され、坐禅体験、ヨガ体験、拝観、お茶の野点などが行われました。参加された皆様には大変、好評を得て終了しました。来年もまた、趣向を凝らしての開催を準備致します。お楽しみに。

ヨガ教室、五月までの無料体験を終了し、六月から始まりました。十時～のクラスは、定員満了となりました。十一時三十分～レギュラークラス始まります。

7月13日、27日。
8月10日、24日。
9月14日、28日。体験参加、お気軽に…。坐禅で心。ヨガで身体。スッキリ！